

アバスチン・mFOLFOX6療法を受けられる患者さまへ
 (アバスチン・エルプラット・レボホリナート・5-FU)

この治療で使用する内服薬・注射薬についての説明書です。わからないことや困っていることがありましたら、いつでもご相談ください。また、何か異常を感じた場合は、すぐにご連絡ください。

《お薬の作用》

薬剤名	経路	主な作用
アバスチン	注射	がん組織へ栄養や酸素を補給する血管が作られないようにして、がんの成長を妨げます。また、がん組織にできた血管を整備することで、一緒に投与される抗がん剤ががん組織に届きやすくなり、その効き目を増強します。
エルプラット	注射	抗がん剤です。(がん組織を直接攻撃します。)
5-FU	注射	抗がん剤です。(がん組織を直接攻撃します。)
レボホリナート	注射	5-FUの作用を強めるために使用します
デカドロロン	注射	アレルギー症状や吐き気を抑えるために使用します。
アロキシ	注射	吐き気を抑えるために使用します。
イメンド	内服	吐き気を抑えるために使用します。



《投与スケジュール》

◆第1日目 イメンド 1錠 内服

ペンレス 貼付



本 管	側 管
30分 デカドロン・アロキシ点滴静注 (生理食塩液 100ml で溶解) 	
生理食塩液 50ml 点滴静注 	
	90分、60分、30分 アバスチン点滴静注 (生理食塩液 100ml で溶解) 
	生理食塩液 50ml 点滴静注 
2時間 レボホリナート点滴静注 (生理食塩液 250ml で溶解) 	2時間 エルプラット点滴静注 (5%ブドウ糖液 250ml で溶解) 
	3分 5-FU 静注 
約 46 時間 5-FU 持続注入 (携帯型ポンプにて) (生理食塩液で溶解) 	

◆ 第2日目・3日目

- ・ 午前中に、イメンドを1錠服用します。
- ・ 5-FU は、1日目から3日目にかけて (約 46 時間)、携帯型ポンプにて持続注入します。

* 2週間ごとに繰り返します。